

監査報告書	被監査部門:	監査番号:202201
	取締役富山営業所長	監査年月日: 令和6年1月18日(木)
安全運行・業務効率化に関する設備投資の状況		
監査チーム 監査リーダー:田村 浩章 監査員:清水 智之		

1. 監査の目的

営業所の管理者としての責務全般、安全重点施策

2. 監査の講評・所見

営業所長としての責務を理解し、安全に関する取組みも積極的に行われています。また、安全重点施策に関する監査では、輸送の安全に関する費用支出および投資に関する項目について確認させていただきました。その結果、必要な人材の確保、車両、施設の整備についての提言や投資行動を招くための提言を実施しています。

3. 優良事例

- ・事故防止や事故が発生した場合の再発防止策を重視しており、ヒヤリハット情報の収集、事故発生時の分析のため、ドライブレコーダーの最新化や多機能化に積極的です。
- ・営業所長が、法令の改正などバス事業を取り巻く環境に敏感であり、常にソフト面とハード面での情報収集を行なっています。
- ・新しい人材については、紹介での採用など採用の間口を広げています。運転の技術だけを重視した採用ではなく、人柄も重視した採用を行なっている事も好感が持てます。

4. 指摘事項

営業所長が大きなリーダーシップを発揮し、職場を強力にけん引している事が感じられますが、そのために各職員がその環境に甘んじ、自らの安全運行について考え、意識を変えるための行動等が希薄に感じます。時代と共に、リーダーのそれに即した変化も当然必要ですが、リーダーの下で働く社員にも意識改革が必要かと思われまます。

営業所内には、提案や上層部への意見を自由な雰囲気では提出できる目安箱を設置していますが、利用は皆無に等しい状態です。この資源を有効に利用する事でさらに、業務の効率化・活性化が期待できるかと思えます。

5. 重点監査項目の所見

- ① 営業所長としての責務を理解し、安全管理全般や経営トップ(取締役社長)へ積極的な提言・提案を行なっています。
その提言の中には、単に所長としての提言だけでなく、経営陣の視点で、社員の労働環境の改善に向けた提言も行なっています。
(休憩場所の備品整備などその他)
- ② 本社への提言により、夜間の洗車作業に必要な照明装置について、LED化や、照明本数の増設工事が令和6年2月に開始予定、作業効率の向上込まれると同時に職員の作業負担の軽減が期待できます。
また、営業所構内の舗装工事が4月より開始され、車両の管理への有効性が期待できます。
- ③ 人材の確保については、運転手の場合、技術のみを重視した採用ではなく、人柄を重視し、本人の伸びしろを期待する採用を行なっています。
今後もその方針を継続する予定だそうです。

6. フォローアップ監査の予定

監査予定日: 監査報告書作成後約半年後 (令和6年8月頃)

監査報告書 令和6年2月1月30日 作成 田村 浩章